

女性の活躍・人目に付きにくい分野

平成 28 年 4 月 18 日
内閣府賞勲局

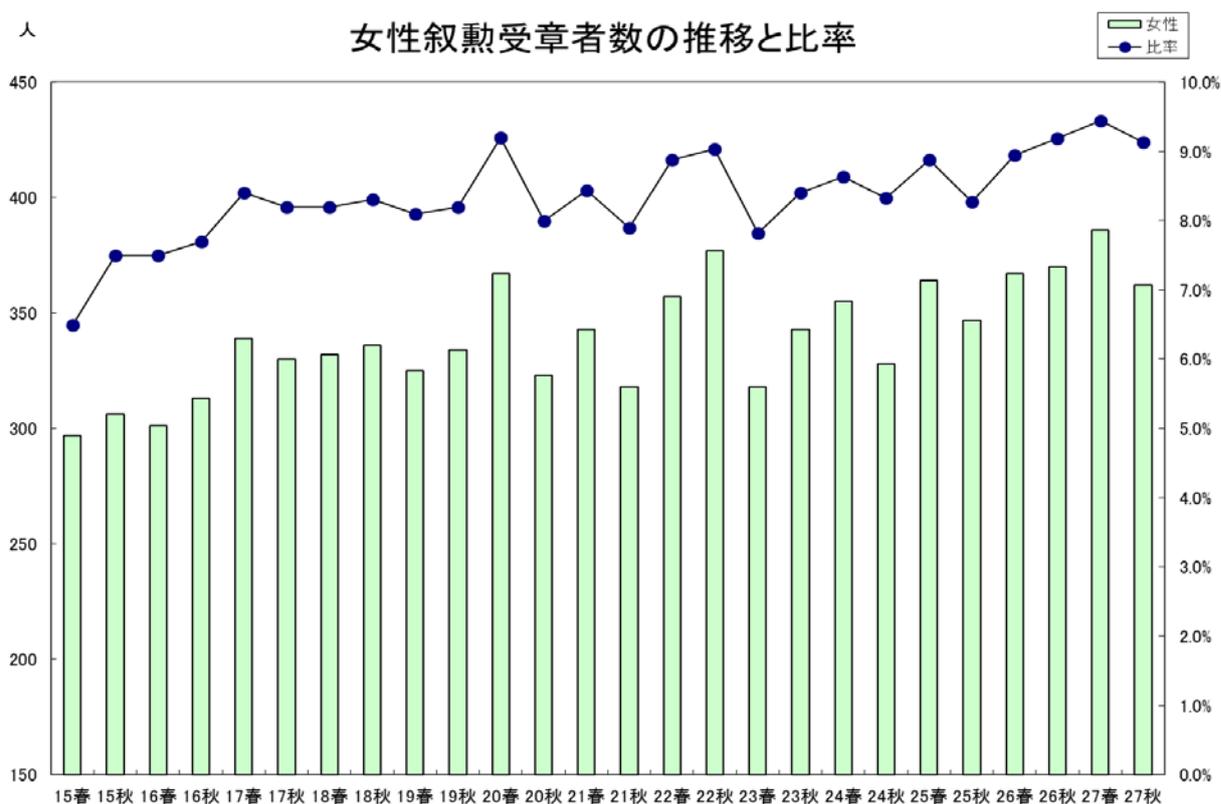
1. 女性の活躍について

【女性への授与数の推移】

(1) 女性への叙勲は徐々に増加しつつあるが、平成 27 年秋の叙勲でも 9.1%にとどまっている。

*叙勲の受章者： H15 秋 306 人 (7.5%) → 27 秋 362 人 (9.1%)

*褒章の受章者： H15 秋 154 人 (18.2%) → 27 秋 171 人 (22.6%)



【分野別の女性への授与数】

(2) 分野別にみると、公選職が 3.1%、民の分野が 14.4%、官の分野が 5.3%となっている。

*分野別の女性への授与件数 (H27 秋) :

		授与数	内, 女性	割合
公	公選職	413	13	3.1%
	民			
	消防団、民生・児童委員等	892	134	15.0%
	企業経営者、民間団体役員	398	13	3.3%
	教員 (大学教授等)	68	7	10.3%
	医療、福祉従事者	170	85	50.0%
	文化、スポーツその他	223	14	6.3%
	小計	1,751	253	14.4%
官	国の一般行政職等	748	13	1.7%
	地方公務員	164	5	3.0%
	判事、検事	43	0	0.0%
	医療、福祉従事者	80	49	61.3%
	教員 (大学教授、小中高校長等)	488	21	4.3%
	三公社、現業職員等	274	8	2.9%
	小計	1,797	96	5.3%
合計		3,964	362	9.1%

【女性の推薦枠】

(3) 大臣表彰の中には、女性への表彰を増やす観点から、女性の候補者は別枠で推薦を認める仕組みを設けているものがあるが、栄典候補者についてもこれらを参考にできないか。

*大臣表彰における女性推薦枠の例 :

- ・「建設マスター」(優秀施工者国土交通大臣顕彰)
平成 26 年度から、女性候補者については、各推薦団体の推薦可能人数を超えて別枠 (上限なし) で推薦できることとした。
- ・「現代の名工」(卓越した技能者厚生労働大臣表彰)
平成 28 年度から、都道府県や団体が女性候補者を推薦する場合には、推薦数を 1 名増することとした。

【女性の活躍、男女共同参画などに関する大臣表彰】

(4) 女性の活躍、男女共同参画などに関する大臣表彰制度を活用し、これらの分野の功労者に積極的に栄典を授与していくべきではないか。

*男女共同参画功労による総理表彰と叙勲の年別件数推移：

	総理表彰（うち女性）（注）	叙勲（うち女性）
平成9年	12（11）	—
平成10年	10（10）	—
平成11年	10（10）	—
平成12年	10（10）	5（5）
平成13年	9（9）	5（5）
平成14年	10（9）	—
平成15年	9（8）	3（3）
平成16年	9（8）	3（3）
平成17年	9（8）	1（1）
平成18年	10（10）	3（3）
平成19年	10（10）	2（2）
平成20年	12（11）	2（2）
平成21年	12（11）	2（2）
平成22年	10（8）	2（2）
平成23年	9（8）	1（1）
平成24年	12（10）	—
平成25年	11（9）	—
平成26年	12（10）	—
平成27年	11（9）	—

（注）平成19年までは内閣官房長官表彰。

*女性の活躍、男女共同参画などに関する大臣表彰の例：

- ・「男女共同参画社会づくり功労者表彰」（内閣府）
- ・「女性のチャレンジ賞」（内閣府）
- ・「均等・両立推進企業表彰」（厚生労働省）
- ・「社会教育功労者表彰（女性教育）」（文部科学省）
- ・「農山漁村男女共同参画優良活動表彰」（農林水産省）など

2. 人目に付きにくい分野について

【人目に付きにくい分野への叙勲】

- (1) 春秋叙勲においては、昭和41年から、社会の第一線で功績を挙げた著名な方々のみならず、人目に付きにくい分野で社会を支えて地道に功労を重ねた方々へも叙勲を行っている。

*人目に付きにくい分野における叙勲

(H15 年閣議決定「勲章の授与基準」) :

- 3 瑞宝章は・・・次の各号に掲げる公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与するものとする。

(7) 前各号に掲げるもののほか、人目に付きにくい分野における業務

*叙勲の年齢 (平成15年総理決定「春秋叙勲候補者推薦要綱」) :

(1) 70歳以上の者

(2) 55歳以上の者で次のア又はイに該当するもの

ア 精神的又は肉体的に著しく労苦の多い環境において業務に精励した者

イ 人目につきにくい分野にあって多年にわたり業務に精励した者

【保育士、介護職員などへの叙勲の増】

- (2) 人目に付かない分野への叙勲の内訳については、「女性の割合が30.3%と就業者数に占める女性の割合(40%超)と比べても低い」、「保育士、介護職員など、少子高齢化の進行に伴って社会的な重要性が高まっている分野への授与が少ない」等、見直しを行うべき点があるのではないかと。

*人目に付きにくい分野への叙勲件数 (H27 秋) :

		男性		女性		計
人目に付きにくい分野		533	69.7%	232	30.3%	765
うち男性受章者が多い分野	郵便集配員	97	100%	0	0%	97
	鉄道関連従事者	70	100%	0	0%	70
	建設優秀施工者	37	97.4%	1	2.6%	38
うち女性受章者が多い分野	看護師	2	3.7%	52	96.3%	54
	保育士	0	0%	27	100%	27
	介護職員	1	6.7%	14	93.3%	15